

みなかみユネスコエコパークの取組(群馬県みなかみ町)

取組概要

首都圏3,000万人の生活を支える利根川の最初の一滴を生み出すみなかみ町。谷川岳などの数々の名峰に囲まれたこの町では、豊かな自然と上手につきあいながら人々の暮らしが営まれている。このみなかみ町の暮らしがこれからも持続し発展していくことを目的に、自然との共生の世界的モデル地域であるユネスコエコパーク(正式名 Biosphere Reserve)の登録をめざし、平成29年6月、みなかみユネスコエコパークが誕生した。

人口 19,447人 (H30.1.1現在)

担当 エコパーク推進課

取組の効果

世界的ブランドによる農業や観光産業への良好な波及、環境教育の推進、郷土愛の醸成、定住移住の促進など、自然と共生を図る持続的な地域づくり。



利根川の水源地「大水上山」の雪渓

創意・工夫した点

住んでいるとなかなか気づかない地域のすばらしさ。世界から評価されたことでそれに気づき、あらためて、みなかみ町に住んでいてよかったと思ってもらえるよう当該取組の普及啓発を図った。

他団体へのアドバイス

ユネスコエコパークは、我が国においては知名度は低いものの、2018年5月現在、世界120カ国669地域が登録されるなど世界的ブランドである。現在、国内に9つあるユネスコエコパークや文部科学省などの関係機関を中心に国内への普及啓発を図る取組が進められているところ。



利根川清流を活用したラフティングツアー